


<b>自治会報</b>  HP	<h1>かけはし</h1> <p>〔第2つつしが丘自治会と「会員」の「はしわたり」〕</p>	No 042
		2023年11月1日 発行責任者 自治会長 山田 俊克

温暖化で秋の訪れが遅く、残暑が長引くと思っていたら、10月に入ると朝夕は肌寒く、日中も羽織るものが欲しくなりました。今年は、夏場の猛暑で里山での「どんぐり」「栗」等々の動物の餌になるものが少なく、クマ等が市街地に餌を求めて現れるようになりました。地域によっては被害が例年より多く、学童の通学等にも影響が発生しているようです。

秋の爽やかな秋晴れと思いきや、山には初冠雪、北国には初雪が見られるようになりました。  
 「霜月（しもつき）」11月の和名で、霜がおりるほど寒い月なので霜月と呼ばれます。11月8日は立冬（りっとう）です。暦の上では冬に入る日です。文字通り「冬立つ」頃ですが、この時期は天候に恵まれ、爽やかな日が続きます。  
 時折、春のような穏やかな陽気になることがあり、このような日を「小春日和」といいます。\*今は、夏日の記録になる？  
 落ち葉は掃いても掃いてもキリがないと嘆いても、紅葉としてはホッとするほどにキレイとお出掛けすることも多いと思います。  
 日暮れも早くなりますので、車の運転など十分注意してお出掛け下さい。  
 風邪など引かないよう、温かくしてお過ごしください

**「自治会」からのご連絡**

- ① 10月1日付で行政区内広報配布戸数の調査結果＝会員で配布（433戸＋5）、未加入会員で配布（34戸＋4）でした。
- ② ふれあい訪問収集（家庭ごみ出し）の利用希望者及びゴミ出しボランティア募集を行っています。  
 \* 申込要領閲覧中ですが、お近くの役員または、環境部へ相談下さい。  
 ●ふれあい訪問利用希望者は、氏名、連絡電話番号、地区班を記入して封筒に入れ班長宅、又は会館ポストへ入れて下さい。  
 ●ゴミ出しボランティア活動（申し込み宅玄関からゴミ集積所まで）に協力いただける方も同要領で申込をお願いします。
- ③ 12月4日(月) 二小学区地区社協で「認知症カフェ（オレンジカフェ）体験会を開催します。（牛久市社会福祉協議会後援）  
 ●場所：二小学区地区社協1階ホール 時間：13:30から15:00（予定） \*無料です  
 \*お茶（コーヒ）等を飲みながら、認知症に関する悩み等を話し合いませんか！（悩みを共有する場です）
- ④ 10月15日に自治会次世代との懇親会(意見交換会) を行いました。次回2月に予定。参加者を募集しています。

自治会の閲覧情報については、ホームページに『回覧』のタイトルで掲載しています。

**【文化・スポーツ部】からのご連絡**

●つつしが丘・第2つつしが丘合同文化祭を開催します。  
 11月12日 日曜日 9:00～15:00 牛久第二小学校 体育館  
 \*舞台演芸(22演目予定)、作品展示(20種目予定)、お楽しみ抽選会(参加賞有)があります。  
 \*セルフ喫茶を設置しています。 \*ゴミの持ち帰りに協力ください

**【環境・会館施設部】からのご連絡**

令和5年11月の区民会館（室内・屋外）の清掃、班長会議の会場設営を、次の通り予定しています。

日 時	担当地区	2地区1, 2, 3班	区民会館	ホール・事務室・洗面所
11月19日(日) 9時30分まで集合	実施責任者	班長(2地区3班)	清掃	(トイレ含む) 会議会場設営

●環境部門より **【牛久市環境美化の日 実施の案内】**

◎実施日：11月19日(日) 8:00より30分程度

●清掃場所：第1街区公園及び第2公園～第4公園、二小通学路歩道・プール側歩道の草刈り等  
 団地をキレイにする活動です、積極的に参加しましょう。体調のすぐれない方、発熱のある方は参加をご遠慮ください。

**よもやま話「四方山話」 『マラソン＝42.195km』**

マラソンの距離が42.195kmと中途半端な距離なのか！マラソンの命名は？ 調べました。 マラソンの語源は紀元前にギリシャ軍の兵士がペルシアの大軍と戦い勝利したことを報告するために、マラトンから約40km離れたアテナイまで走ったことに由来しています。伝令の使命を果たした兵士がなくなり、兵士が走った距離約40kmを第1回オリンピックで走ったのがマラソンの始まりだそうです。42.195kmという中途半端な距離が採用されたのは、1908年の第4回ロンドン大会です。当初は42kmで設定していたのですが、このときのイギリス王女アレキサンドラが「スタートは城の窓から見えるように宮殿の庭で、ゴールは競技場にあるボックス席の前に設置してほしい」とリクエストした結果、当初予定していた42kmよりも距離が延び、42.195kmになったと言われています。

自治会 会員状況 (行政区)	R5年度 自治会会員数(10/1現在)	転入/入会	転出/退会	訃報	2023年 10月 2日現在	
	433 (世帯)	6	3	6	発行編集	自治会総務部
	第2つつしが丘 令和5年 10月2日現在514世帯 男 531 女589人 合計1,120人				市人口	世帯数
	人口1,120人＝65歳以上585人(男263人、女322人)で高齢化率52.2%です。				84,117人	38,363世帯

自治会の必要性をご理解の上、自治会維持のため「専門部」への入会をお願いします。

**お知らせ掲示版** 【自治会寺子屋開催連絡】

**「自治会寺子屋」は毎月第4火曜日午後から開催していましたが、12月で終了とします。**

\*2024年1月に「健康マージャン大会」の開催を計画したいと思います。  
 参加希望者は申込をお願いします。詳細は12月1日(金)の回覧でご案内したいと思います。

**寺子屋『塾長』募集「個人・グループで何がしかの発信をしたい方」是非お持ちの知識・技の披露を！**

**行政区と自治会について**

- 行政区とは、一定の地域に住む人たちが、地域における様々な問題解決に取り組むとともに、自治活動を柱として住民の連帯意識の向上に努めている自主的な団体です。牛久市には64の行政区と、それに準ずる3の準行政区があります。  
 (1) 災害時の自助・共助 (2) 地域のコミュニティ活動 (3) 市広報等の配布や回覧 (4) 地域の一斉清掃  
 (5) 地域の見守り・防犯活動 \*ほかにも行政区ごとに、夏祭りや文化祭などの催しを行っています。
- ◎区長制度＝牛久市では、市と市民との緊密なる連絡及び市政の円滑な運営を図るため、区長制度を設けています。  
 \*第2つつしが丘は、自治会の会長と行政区長を同一としています。
- \*行政区長は、第2つつしが丘行政区全体についての牛久市との窓口業務を行います。
- 第2つつしが丘自治会とは、加入会員を以て構成されています。(注)未加入会員であっても、第2つつしが丘行政区民です。  
 自治会への加入は任意であり、加入する・しないは個人の自由です。ただし、地域での交流や防災・防犯など、加入することで得られるメリットもあります。阪神淡路大震災で救助された人の約80%は、隣近所の人たちによって救助されており、地域住民組織である「自治会」活動に於けるコミュニティで住民同士で助け合い、住みやすい団地にするために皆さん積極的に参加しましょう。

**【豆知識】 『勤労感謝の日』とは**

勤労感謝の日は昭和23(1948)年「国民の祝日に関する法律」で「勤労をたつとび、生産を祝い、国民たがいに感謝しあう」ことを目的に定められました。制定された当時、既に戦後の復興が始まって、人々は、家族や会社、国の発展のため、身を粉にして働いていました。そんな時代の日本にマッチした祝日だといえます。しかし、勤労は日常的なことです。本来であれば、毎日勤労に対する感謝をしてもよいはずですが、それがなぜ11月23日に制定されたのか。

その理由をひもとく鍵は、「勤労感謝の日」が生まれた背景にあるようです。そこには、「新嘗祭(にいなめさい)」と呼ばれる宮中の祭典が深く関係しているようです。日本の祝日には、ハッピーマンデー制度というものがあります。これは、土曜日・日曜日・月曜日という3日間を連休にするために、毎年決まった日を祝日にするのではなく、月曜日を祝日にするという制度です。

成人の日や海の日などがこれにあたりますが、「勤労感謝の日」は毎年11月23日に固定されている祝日です。「勤労感謝の日」が固定の休日となっている理由は、「勤労感謝の日」は、もともと「新嘗祭(にいなめさい)」という祝祭が由来とされています。新嘗祭とは、五穀豊穰を祝う日本古来の風習で、日本書紀にも記述が見られる我が国の伝統行事です。

元来は、収穫した農作物を皇祖や神々にお供えするという宮中行事で、現在でも11月23日になると天皇陛下が自ら新穀を神々に供え、その年に出来た農作物を召し上がるという習わしが続いています。「新嘗祭」自体は全国各地に伝わる風習で、新穀が収穫される10月、11月、12月にかけて作物への感謝を示す行事が全国各地で行われています。それでは、なぜ宮中行事の「新嘗祭」が「勤労感謝の日」として定められることになったのでしょうか。それは、戦後の占領時代におけるGHQの考えが起因しています。

GHQは宮中行事と国民行事を切り離す必要があると考えました。戦前、11月23日は「新嘗祭の日」という休日でしたが、GHQはその日を「勤労感謝の日」に改め、宮中行事と切り離れた祝日として定めたのです。「新嘗祭の日」は明治6年に旧暦から新暦に移行する際に制定された祝日ですから、現在まで続く「勤労感謝の日」はいつてみれば日本の祝日の中で最も長い伝統を持つ祝日のひとつだといえます。「五穀豊穰を祝う日」が、なぜ勤労を感謝し合う日に変更されたのかについては諸説あります。

そのひとつが、アメリカの祝日が関係しているという説です。

アメリカでは、11月の第4木曜日に感謝祭を催す「ThanksgivingDay」という習慣があります。そこに、9月の第1月曜日に定められていた「Labor Day」労働の日の概念を加えて「Labor Thanksgiving Day」すなわち勤労感謝の日として制定されたという説が有力だといわれています。「勤労感謝の日」の起源となった「新嘗祭」は、今でも11月23日に全国の神社などで行われています。特に有名なのが伊勢神宮や明治神宮で催される「新嘗祭」です。その年に収穫した「新穀・農作物」を主祭神である「天照大神」に奉納します。日本の国民の祝日として定着している勤労感謝の日は、毎年11月23日で日付は変わりません。

**平成から令和になり、「天皇誕生日」が2月になったため、1年で最後の祝日となりました。**

- GHQ＝第二次世界大戦後に日本を占領した連合国軍の最高司令官に付属する総司令部の略称。  
 1945年8月から1952年4月まで日本を占領統治し、さまざまな民主化、平和国家化を主導した。
- : Labor Day「レイバー・デー(労働者の日)」の意で、連邦政府の祝日の一つで、9月の第1月曜日と定められている。
- ThanksgivingDay「サンクスギビングデー(感謝祭)」＝日本の「勤労感謝の日(Labor Thanksgiving Day)」

区民会館では、手指消毒・検温は継続です！  
 コロナ・インフルエンザ等感染症対策を行って下さい！